

# 進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年11月24日

[こちらの記載例](#)を参考に作成ください。

また、事業終了時の評価に関する[完了報告書のフォーマット\(暫定\)](#)はこちらです。

事業名:	若者の自立に伴走する相談事業・住居提供
資金分配団体:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	一般社団法人アマヤドリ
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	「家族と関係が良くなりたく家を出たいけれど、一人暮らしのための初期費用がまだない。」「一人暮らしをしているけれど、経済的に厳しく頼れる人もいない。」など孤独感や居場所のなさを感じており、経済的に困っている18歳から20代の女性。

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
サポート付きシェアハウス運営・広報・入居相談事業 ○コロナ禍で経済的に困窮しており社会的に孤立している若年女性に住まいを提供し、自立に向けた実践的な支援をすることを目的とする ○敷金礼金保証人なし、収入25%の家賃で入居可能。半年間0円でも入居可能。家具家電、布団や調味料、米など生活に必要な最低限の物資を完備。カウンセリングも行うことで経済状況によらず安心して過ごせる環境を用意。 ○入居者は自立のための生活支援（料理、洗濯等）やキャリア支援、ビジネスマナー研修等の就労支援プログラムを無料で提供。 ○居場所のなさを感じている若者の相談にのる○居住支援法人格を取得し、より多くの住居相談を受ける

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
以下の通り、掲げた目標をご報告します。 ○入居者の心身の健康状態が安定する →入居者延べ8名(トライアル4名、本入居4名)。現在の入居者3名は安定。 →III.活動実績②参照  ○入居者は一人暮らしに必要な基礎力が身に付く →入居タイミングが異なるため総括が難しいが、今現在、入居者3名は資金面以外では完璧ではなくても一人暮らしには問題ない知識が身につけていると感じる。 →III.活動実績③参照

- 入居者に自己理解力とビジネスマナー基礎力、自信が身につく
  - 入居者本人からの都度相談の際、共感的な関わりはもちろん、感情と解釈を分けてみるなど、俯瞰して客観的に物事を捉える方法などを練習している。
  - 毎月1回のキャリアコンサルによる自己分析時間を提案しているが、本人が希望しないこともあるため不定期開催。
  - 入居してすぐは、心と身体を休める時間、抱えている課題を整理する時間となるため、ビジネスマナーの研修を行うに適した状態の入居者へ受講。入居者のペースを見ながら適切な支援を見極めている。
  
- 就労する
  - 入居者3名のうち1名は就労中で今後正社員を目標に活動中。他1名は就労に向け活動を始めている。他2名は静養、治療、弁護士費用等の優先の高い支払いが困難なため就労不可。生活保護につなげている。
  
- 当団体が居住支援法人認定を受けることで入居対象でない方の住居相談ができ、必要な場所へ繋がる居住支援を受けることができる
  - 11月より着手予定。
  
- 入居定員6名から4名へ変更
  - (理由) 共同部屋でなく一人部屋の希望者が多かったため
  
- 家賃改定した
  - Ⅲ.活動実績 進捗状況②参照

### Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①若者が安心安全な住まいで生活できる ②入居者の心身の健康状態が安定している ③入居者に、就労や一人暮らしに必要な基礎力やスキルが身につく	① 良好 相談者の中から当シェアハウスが一番適した居場所だと判断した若者 延べ7名が入居へのステップを踏み、生活をした。何も持たずに来た女の子が、その夜、シャンプーリンスやタオルがあり、安心して眠れる布団もあって久しぶりによく眠れた、という声があった。 ◆問合せ13名、うちトライアル入居者3名、本入居者4名 （開所 2021/5/12～2021/11/19 の延べ数） ② 良好 入居者により入居時の精神状態が異なるが、最低限の身の回りのこと（トイレ、お風呂掃除）ができるようになったり、他の入居者と会話ができたり、日に日にできることが増え、心身の健康状態が良いことがうかがえる。 ③ 良好 親元を初めて離れる子もおり、言葉での指示だけのサポートではなく、「やって見せて、一緒にやる、やってみた後のフォローも実施」することで、最低限の身の回りの掃除から、料理のこと、買い物のこと、報告連絡相談の大切さ等を伝えている。

	<p>開所して半年。まだまだ未来（就労）のことを考えられる余裕がなく、自分のことで精いっぱいな入居者がほとんどである。就労をせかさず、今はゆっくりと静養し、心身ともに充実してきているので、自立に向けて各自のペースで準備を開始できる段階に来ている。順調だと思われる。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動	進捗状況	概要
<p>1. 住居相談・居住支援（適した居住を見つけていくための伴走支援・ステップハウス卒業後の居住先支援）を実施</p>	<p>1. 問合せ約 50 名中、当団体入居者現在 3 名。</p>	<p>1. 問合せフォームより相談後は、メールのみのやり取り、Zoom 面談、支援先への引率、当団体へのトライアル入居審査となり、相談者各々の希望を尊重した上で適した支援を実施</p>
<p>2. 半年間の家賃減額免除により、経済的に困窮した若者に住居を提供</p>	<p>2. 全ての入居者が半年間 0 円で入居。12 月より家賃改正（改正前）  4 人部屋…38,000 円（税込）  2 人部屋…45,000 円（税込）  1 人部屋…52,000 円（税込）  （改正後）  2 人部屋…38,000 円（税込）  1 人部屋…44,000 円（税込）  ※うち 1 万円積立可能</p>	<p>2. 入居契約から半年までは 2 ヶ月前の月収入の 25%を家賃として集金するルールの実施。新たに助成金受託ができたことにより、12 月より家賃を改正。積立もできる仕組みを作り、アマヤドリにいる間は少しでも貯蓄ができるようにし、自立のに向けたサポートを行っていく</p>
<p>3. 毎月最低 1 回の個別カウンセリングを実施</p>	<p>3. 全ての入居者が月に 1 回のカウンセリングとは別に、こまめな個別相談時間を希望のため対応</p>	<p>3. 理事以外にも相談員が必要となってきた現状がある</p>
<p>4. 月 1 回キャリアカウンセラーによる個別面談を実施</p>	<p>4. 本人の希望をベースに、時期をみてこちらからも提案し、不定期に開催している</p>	<p>4. 理事のキャリアカウンセラーによる個別面談を実施。入居したばかりの時は、仕事や進路ではなく生き方や自己分析の時間として実施</p>
<p>5. ビジネスマインド・マナー研修を実施</p>	<p>5. 1 名のみ実施</p>	<p>5. ビジネスマナーの研修を行うステップにいたる入居者へ OJT 研修として実施</p>
<p>6. 家事全般の指導助言を実施</p>	<p>6. 週 3 回 10-16 時を目安に支援スタッフが現地へ行き実施</p>	<p>6. 週 3 回、共有箇所の掃除、ゴミ分別、雑巾や布巾の洗濯、一緒に買い物・料理を実施。買い物と一緒にいくことで、外出や会話のきっかけにもなっている。</p>

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

##### 自由記述

さらに適した場所が見つかった場合の転居など、入居者の入れ替わりはあるものの、定着し入居している者たちが心身ともに充実してきている。入居時には明日のことも考えられないほど絶望していた入居者たちが、それぞれのペースで、自分の未来に向けて準備を始めており、変化を感じる。事業実施後には地域と緩やかにつながりながら、それぞれの望む未来を作っていけることを目指して、焦らず伴走を続けて行きたい。

#### V. インプット

		2021年度		執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥4,405,730		¥1,608,749	36.5%
	管理的経費	¥1,070,000		¥909,549	85%
合計		¥5,475,730		¥2,518,298	46%
補足説明					

#### VI. 事業上の課題

##### 事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

24時間サポートの常駐スタッフは不在のため、健康状態や精神状態を完全にサポートすることが難しい。対策として専門スタッフや夜勤スタッフを招くことも考えたが、人件費もかかるため、まずは入居前の段階で、重篤な疾患が予想される場合は、他機関に繋ぐことを理事会にて決議。今後、我々の成長や専門スタッフの協力などが叶えば、24時間サポート体制のシェルター設立の検討もしている。

#### VII. その他

##### 自由記述

微力ながら毎日精一杯、目の前の若者たちと向き合い、伴走支援を行っております。資金の心配をせず、目の前の支援に集中できるのも助成金をいただくことができているからだ日々感謝しております。本当にありがとうございます。引き続き、一人でも多くの若者をサポートできるよう、精進してまいります。

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	11月18日 FM 横浜「Lovely Days」 9月21日 読売新聞夕刊「30代の挑戦」 6月21日 レインボータウン FM「ライフテラータイム」 5月11日 FM 横浜「ちょうどいいラジオ」 4月8日 朝日新聞朝刊

広報制作物等	有	10月ニュースレター創刊号
報告書等	なし	

## IX. ガバナンス・コンプ

### ライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	理事会：月1回実施
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	◇ハラスメントに関する相談および苦情への対応窓口は設置(対応者：理事堤崎)  ◇JANPIAの外部通報窓口の周知予定です